

冬季に発生のピーク ノロウイルスによる感染症に ご用心!

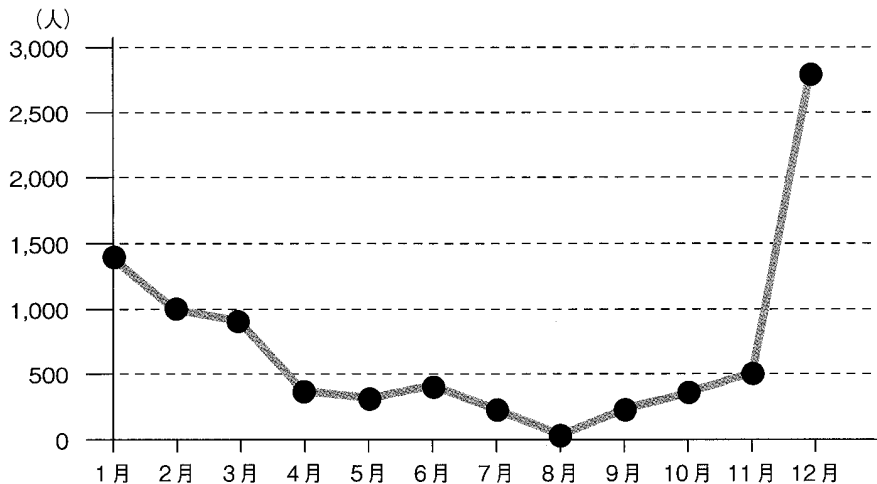
ノロウイルスについて

感染症とは、微生物が人の体の中に侵入して健康が害される病気で、感染経路や症状・治療法も多岐にわたります。その原因となる微生物を病原性微生物といいます。微生物には細菌・ウイルス・真菌などがあり、土中・水中・空気中などあらゆる環境の中に存在しています。

ノロウイルスは、感染性胃腸炎や食中毒の主な原因となる病原性微生物の一つです。感染力はきわめて強力で、ごく少量(数十〜100個程度)のウイルスでも口から体内に入ることによって感染します。感染しても数日で回復に向かいますが、激しい嘔吐と下痢をとまなう、辛い感染症です。

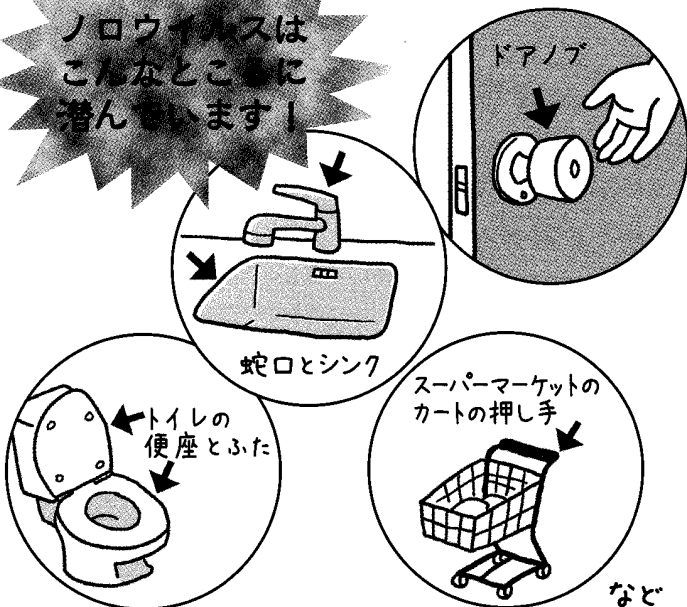
体内に入ったウイルスは腸管で増殖し、1週間から1か月程度、便の中に排出されます。感染した人の嘔吐物には1グラム中に約1〜10万個、便には約10億個ものウイルスが含まれています。ノロウイルスは多数の遺伝子型が存在するため、一度ではなく繰り返し感染することがあります。毎年11月から2月頃に発生のピーク(図1)となるため、予防法を確認し、感染を最小限に食い止めましょう。

図1 平成23年ノロウイルスの月別患者数(人)



厚生労働省ノロウイルスに関するQ&Aより

ノロウイルスは
こんなところに
潜んでいます!



ノロウイルスの特徴

○感染経路

①人からの感染：ノロウイルスが大量に含まれる便や嘔吐物から人の手などを介して二次感染する場合や、人同士の接触する機会が多いところで飛沫感染する場合。

②食品からの感染：感染した人が調理などをして汚染された食品を食べた場合や、ウイルスの蓄積した二枚貝などを十分に加熱調理せずに食べた場合。

○潜伏期間

24〜48時間

○症状

吐き気、嘔吐、発熱、腹痛、下痢などです。これらの症状が1〜3日間続き治癒します。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。嘔吐や下痢が続くときは、脱水症状にならないよう水分補給を十分に行い、症状がひどい場合には医療機関を受診しましょう。